

協議事項(2) (意見交換)「ながら見守り」について

意見交換の目的

以下の現状、前回協議会の議論等をもとに、市や各団体ではどうすべきか、そしてどのような活動をしていったらよいか、「ながら見守り」を一例として取り上げ、委員の皆さんに意見を頂き、議論を深めていく。

また、本日話題となった事項のうち、掘り下げたい事項については、各団体に持ち帰り、取り組みを検討いただき、課題は本協議会等で共有と解決を目指し、各団体の活動と連携し、市全体における安全意識の高揚、自主的な安全活動の一層の推進を図りたい。

1 **現状**／自治体、地域、防犯協会、学校、各種団体等で様々な防犯活動が行われているが犯罪は、後を絶たない。

2 **前回協議会の振り返り** (令和6年度第2回/令和6年 11月 25日(月)開催)／

「委員発言」大船渡地区(町防犯協会)の活動として、子どもたちの下校時に、見守りパトロールとして児童に付き添って歩いている活動が続いている。

活動の担い手を補足するためにも、「ながら見守り」を検討できないか。

3 **課題**／

- ・ひと、もの、お金 (特にも「ひと」)
- ・以前、気仙地区防犯協会連合会では、児童の登下校に合わせて、散歩しながら見守ってもらう活動として「ながら見守り」を各防犯協会に提唱したが定着しなかった。
- ・
- ・
- ・

通勤・買い物・散歩、、、いつでも、どこでも！

誰もができる「ながら見守り」で 地域の子供を守りましょう！！

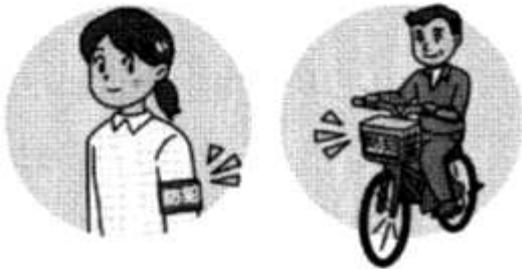
多くの人に関わることで、
街に「犯罪が起きにくい雰囲気」を
生み出すことができます！

特に、登下校時などの子供の安全を確保する上では、
地域全体で「見守りの空白地帯」をなくす努力をする
ことが欠かせません。街で暮らす一人一人が、自分の
ライフスタイルにあった形で、地域の子供などに目を
向けることで、地域の安全・安心だけでなく、地域の
つながりも育むことにつながります。

犬の散歩やジョギング、花の水やり、家のまわりのゴ
ミ拾いや掃き掃除など、普段の生活の中で、周囲の子
供や女性に気を配る。



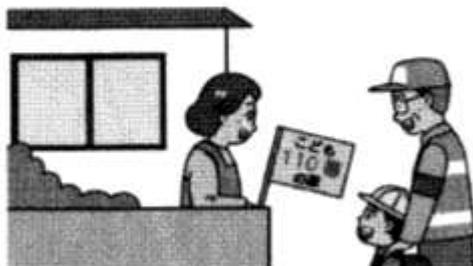
腕章を付けて歩いたり、自転車のカゴに防犯ステッ
カーを付ける。地域の人に活動を理解してもらい、地
域の安心と防犯意識を高める効果があります。



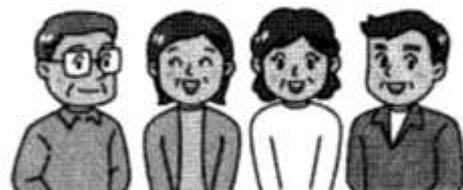
通勤や買い物で外を歩いている時に、子供や女性の
安全に気を配る。



地域には、学校やPTA、自治会や商店街などで、防犯
にまつわるさまざまな活動が行われていますので、
積極的な参加をお願いします。



「ながら見守り」は、活動に定期的に参加することがむ
ずかしい人にも取り組みやすく、地域を見守る目を増
やすことにつながります。



あなたの「ながら見守り」で、子供と女性が安心できる地域をつくりましょう！